

三重の子



<学校指標> — かしこく やさしく たくましく —

足利市立三重小学校校長 浅海 紀 幸

例年より早く梅雨が明け、猛暑日が続く毎日ですが、子供たちは元気に学校生活を過ごしています。7月になり1学期のまとめの月となりました。子供たちは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予防する「新しい生活様式」の中、「あじさい集会」日光遠足・修学旅行・海浜宿泊学習等の行事、学年・学級活動にと工夫しながら取り組みました。そして日々の学習に一生懸命取り組んでいます。これからも、一人一人の頑張りを認め「その子らしさの発見」に努めていきたいと思います。

三重小の人権教育

本校の人権教育は、教職員ひとり一人が自己研鑽に励み、ご家庭・三重地区の方々と信頼関係を築き連携し、つながり合うことが根本になっています。

授業等において教職員は、児童一人一人との信頼関係づくりと、互いを認め合い励まし合えるような居心地のよい集団づくりをめざしています。学級や様々な活動を通して「集団」における子供のよさを見とりながら、伸ばすことに力を入れています。

本校では今年も、「人権教育・啓発推進県民運動強調月間」に合わせて、児童一人一人が、日頃の生活や体験活動の中で、差別のない望ましい人間関係づくりの大切さや様々な人権問題について考えたことなどを題材とした作文を書きます。作文は後日、保護者の皆様にもお読みいただけるように予定しております。

あじさい集会大成功!

6月14日(火)「あじさい集会」を行いました。

新型コロナウイルス感染防止のため、実施を見合わせていましたが、今年は、プログラム委員を中心に、内容や方法を工夫して実施することができました。保護者の皆様や地域の方々にはご参加いただけませんでしたが、子供たちは縦割り班ごとに準備をし、当日は、それぞれの班が工夫を凝らしたゲームで大いに盛り上がりました。みんなで力を合わせて楽しい集会にすることができました。





臨海自然教室

6月21日~23日、5年生がとちぎ海浜自然の家で、2泊3日の宿泊学習を行いました。











海辺の施設で、学校ではできない様々な体験をとおして、三重小5年生としての自覚と自信が深まりました。この体験を生かして、これからの学校生活をさらに充実したものしてほしいと思います。保護者の皆様には、事前の準備、当日の送り迎えなどで大変お世話になりました。ありがとうござしました。

夏季における児童のマスクの着用について

現在、学校においては、厚生労働省及び文部科学省からの通知を受けて、夏季におけるマスクの着用の考え方に基づいた対応を行っております。

1 夏季におけるマスクの着用の考え方について

次の場面においては、特に熱中症のリスクが高いことが想定されることから、 熱中症対策を優先し、児童に対してマスクを外すように指導しています。

- ・体育の授業
- ・登下校時
- ・休み時間の運動遊び(鬼ごっこなど)

2 留意点について

- (1) マスクを外してもよい場面においても、マスクは常に携帯し、会話等を 行う際には着用するなど、臨機応変に対応できるように指導しています。
- (2)様々な理由からマスクを着用できない児童や、常にマスクの着用を希望する児童へは、熱中症対策を適切に講じながら、個別に対応します。
- (3) 基本的な感染対策として、引き続き、「三つの密」の回避、「人と人との 距離の確保」、「適時適切なマスクの着用」、「手洗い等の手指衛生」、「換気」 等を徹底しています。